

澁谷審議官によるブリーフィングの冒頭発言

日時：5月14日（水）17時30分～17時50分

場所：合同庁舎8号館

5月13日（2日目）の首席交渉官会合の様子を説明する。昨日は現地時間朝9時から1時間目がSPS、10時30に終わってブレイクを挟んで10時45分から12時15分まで2時間目は投資とサービスのパッケージ。投資のテキストとサービス関係のテキストは共通している論点が多い。昨日、ある国が、事務的に解決できそうな論点集をまとめたと言ったが、投資とサービスに係る論点集をベースに議論した。概念上は政府調達も広い意味でのサービスとしてこの中に入る。14時40分に再開し、物品のテキストの議論を16時まで。その後、原産地規則を少し議論して、知的財産のチェックインを18時40分まで行った。知的財産は最終日に議論する予定だが、予告編として今どんなことを議論しているかの現状報告があった。

午前中のSPSは、もともと大きな論点あまり残っていない。しかし、昨日も労働についてそのように申し上げ、ただまだどの国も最終了解していないので、まさか「労働は合意へ」と書かないでしょうねと話したが、今日ある新聞が「労働は合意へ」と書いた。労働も含めて、仮に何年か経って今回の議事録が公開されても、その議事録を形式的に見ただけでは誰も合意に向かっているとは思わないと思う。こういう交渉では最後の最後までカードは切らない。たいしたことないような論点でも、いざというときの交渉材料に使えるようにカードとして持っておく。皆さんがよくおっしゃる「部分合意」とか「まだら合意」というものはTPPにはない。少なくとも、いま残っているものは全部パッケージという発想なので、労働だろうとSPSであろうと、最後の最後までブラケットは外れない。ブラケットがついている以上、「合意」と書けば「誤報」ということになる。SPSについては、大きく言うと2つ、細かく言うと10に満たないくらい論点があるが、それを全部ざっと流したが、何一つとしてブラケットが取れたものはない。こう聞くと表面的には全然進展していないということになる。しかし、全体の雰囲気はどうかというと、国の利害をかけて反対しているというより、まだカードを切るタイミングではないということで、流している状況のような気がする。最終の一步手前という感じもする。

SPSは昨日も自民党の「国益を守る会」で話題に出たが、我が国の制度を変えなければいけないような議論はされていないと申し上げた。今残っている論点は技術的な話で我が国の制度とは関係ない話なので、そういった意味でも心配する必要はないのではないか。

サービスと投資のパッケージについて、日本がいくつか主張していた点があったが、昨日、鶴岡首席がそこはけりをつけようと言って解決されたようだ。それ以外の論点についてはSPSと同様、論点の確認をしたということ。投資チャプターの中身としてはISDSもこの中に入るが、事務的に整理する論点集には難しい論点が入っていないので、ISDSの議論をガンガン進めたという感じではない。

午後の物品のテキストについては、細かい話が色々あり、仮に詳細にお話ししたとしてもよくわからないと思われる論点が多かったと思う。原産地規則について、いわゆるテキストの部分と PSR (Product Specific Rules) という個別品目毎のルール決めがあるが、後者はまだ千品目以上残っている。ただ、これはどんな経済連携協定でも物品が整理できないとまとまらないのでいつも最後に回されるのでやむを得ない。昨日は PSR 頑張っただけという話があったと聞いている。

最後に、知的財産のチェックインだが、チェックインなので状況報告。議長国から現状の報告があり、来週の閣僚会合でどんなペーパーを出すか、現在のステータスについて報告をすることなので、ステータスレポートのようなものを来週の閣僚会合に向けて準備することと、政治的な判断を求めるためにどの程度の作業が必要なのかを整理するワーキングプランを作るという報告があり、ステータスレポートとワーキングプランを含めて、明日、首席交渉官会議にカムバックすることになる。そういう状況なので、政治的な判断を求めるために事務的な作業をどの程度しなければならないか、ワーキングプランを作るというくらいだから、最終合意に向けた作業のスケジュールは数日というレンジではないのではないかと。昨日、今日報道されているような「もう間もなく合意」という感じではない。ただ、それ以前の状況に比べると相当な前進だとは思いますが、皆さん、見出しを書くときにはぜひ注意していただかないと。日本の新聞は各国が見ているのでご留意願いたい。ちなみに、著作権について日本が 70 年でよいと言った事実は全くない。

シンガポールの閣僚会合の進め方についての議論もあった。19 日午前集まって全体会合で午後はバイ会談といういつものパターンということになったようだ。20 日、何時まで続くかはまた追って決まるとのこと。火曜日の夕方、何らかのプレス対応をする方向で考えているようだがその形態はまだこれから。午前中の全体会合は確定ではないが、10 時過ぎから始めるのではないかと。ホーチミンの首席交渉官会合の報告から始まると思うが、それがどのくらいかかるか。シンガポール閣僚会合の全体像がわかってきたので、甘利大臣もバイ会談のスケジュール調整を始めたところ。

(以上)